

近代日本画家の竹内栖鳳の初公開作品や天下の名香「蘭奢待」、
寛永三筆による「源氏物語」の写本など、見どころが満載！

特別展「陽明文庫名品展」開催

国指定史跡「荻外荘（てきがいそう 近衛文麿旧宅）」の復原整備完成を記念し、11/2(土)～
12/15(日)、陽明文庫所蔵の近衛家ゆかりの名品を郷土博物館で公開します。近代日
本画の巨匠である竹内栖鳳の初公開となる作品「きょうちくとう夾竹桃」や、天下の名香「らんじゃたい蘭奢待
など、貴重な名品の数々をご覧ください。

《近代日本画》

かつて「荻外荘」にあった日本画の名品を展示します。竹内栖鳳、
横山大観、山元春挙、川合玉堂、上村松園、松林桂月、平福百穂、橋
本関雪、安田靉彦、前田青邨、堂本印象といった巨匠たちの名画が
勢ぞろいします。しかも、その多くは今回が初公開となる作品です。



夾竹桃 竹内栖鳳筆

《香道具》

重要美術品に認定されているまきえきやらぼこ蒔絵伽羅箱「物かは」をはじめ、近衛家
伝来の香道具を展示します。目玉は、正倉院宝物として知られる天下の
名香「らんじゃたい蘭奢待」。織田信長に切り取られたことで有名ですが、本展では
その記述がある『信長公記』巻七も合わせて展示します。



蘭奢待

《源氏物語》

今年の大河ドラマでもおなじみの『源氏物語』。陽明文庫にはいくつ
かの写本が収められていますが、本展では、書の名人として「寛永の三
筆」にも数えられる近衛信尹らが書き写した『源氏物語』を公開します。
さらに、紫式部が詠んだ歌を集めた歌集『紫式部集』も合わせて展示し、
『源氏物語』の世界へと誘います。



近衛信尹他寄合書本「源氏物語」

【会期中のイベント】

- ・ 講演会「陽明文庫名品の魅力について」（要申込み）
名和修氏（公益財団法人陽明文庫 常務理事・文庫長）
12月7日(土)14時～16時 セッション杉並（杉並区梅里1-22-32）にて
- ・ 学芸員による展示解説（申込み不要）
11月16日(土)、12月14日(土)どちらも14時～14時30分 郷土博物館にて



令和6年10月21日
杉並区広報課

【詳細はこちら】区ホームページ

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/event/kyouikuiinnkai/kyodohakubutsukan/1096462.html>

陽明文庫は、昭和前期に内閣総理大臣を務めた近衛文麿が京都市に設立した特殊な歴史資料館です。近衛家に伝習した古文書、古典籍、古美術工芸品等を一括して保存管理しています。

郷土博物館分館にて、

企画展「『荻外荘』と近衛文麿」も開催中です。10/19(土)～1/26(日)

【詳細はこちら】区ホームページ

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/event/kyouikuiinnkai/kyodohakubutsukan/1096318.html>

【報道機関 問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841

広報課報道係：03-3312-2111 内線1502